

令和6年6月吉日

京都先端技術研究会 会員各位

京都先端技術研究会
委員長 中村 道一

令和6度 京都先端技術研究会 総会、記念講演会、技術交流会のご案内

日 時 令和6年7月3日(水) 14時00分～19時30分

場 所 地方独立行政法人 京都市産業技術研究所 2階 ホール他
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町91 京都リサーチパーク9号館南棟
TEL:(075)326-6100

総 会 (14時00分～14時45分)

- (1) あいさつ 中村 委員長
- (2) 議事 第1号議案 令和5年度事業報告
第2号議案 令和5年度収支決算報告、決算監査報告
第3号議案 令和6年度事業計画(案)
第4号議案 令和6年度収支予算(案)
第5号議案 役員改選(案)について
- (3) その他 ・令和5年度(財)JKA競輪補助事業による設置機器の紹介
・写真撮影

記念講演会 (15時00分～17時00分) 会費：無料

「からくり」から始まる日本のものづくり

講師：九代 玉屋庄兵衛 氏

(尾陽木偶師)

九代玉屋庄兵衛後援会 名誉顧問 末松良一 氏

(名古屋大学名誉教授、豊田高専名誉教授)

技術交流会 (17時30分～19時30分) 会費：4,000円

会場：かこのや京都リサーチパーク店

京都市下京区中堂寺栗田町91 KRP10号館1階

会 費 記念講演会：無料
技術交流会：4,000 円
※当日、受付にてお支払ください。

ご 出 欠 総会、記念講演、技術交流会のご出欠の回答は、
令和 6 年 6 月 25 日（火）までに、
総会回答（講演会申込）フォーム、もしくは、メールのいずれかの方法により
お願いします。

お 問 合 せ 京都先端技術研究会 事務局 南、丸岡
E-mail：kyoto-sentan_1985（ato）tc-kyoto.or.jp、
※メールをお送りいただく際は、（ato）を@に変えてください。
（京都市産業技術研究所内、TEL：075-326-6100、FAX：075-326-6200）

「からくり」から始まる日本のものづくり

昨今、「省エネ」「生産コスト削減」などの取組において、ものづくり工場での「からくり改善®」活動が注目されています。「からくり」は、人形だけでなく和時計や織機など機械装置全般を意味する「からくり」動力で動くもので、今の日本のものづくりの源です。



弓曳童子

この「からくり」について、この度、京都先端技術研究会 令和6年度総会記念講演におきまして、

九代 玉屋庄兵衛様、末松良一様から、<「からくり」から始まる日本のものづくり>

と題しましてご講演いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

内 容: 「からくり」から始まる日本のものづくり

講師：九代 玉屋庄兵衛 氏

(尾陽木偶師)

九代玉屋庄兵衛後援会 名誉顧問 末松良一 氏

(名古屋大学名誉教授、豊田高専名誉教授)

【講演概要】

本講演では、江戸時代に「からくり人形」が庶民に普及していった経緯や「からくり人形」が日本人のロボット観を育み、山車からくり祭が日本人の創意工夫の原動力になったこと、ものづくり工場での「からくり改善®」活動について、具体例を示しながらご講演いただきます。また、「茶運び人形」「弓曳き童子」などの実演・解説や祇園祭蠅螂山（とうろうやま）のカマキリの苦勞話も。

※「からくり改善®」は公益社団法人日本プラントメンテナンス協会の登録商標です。



九代玉屋庄兵衛後援会ホームページ
<http://karakuri-tamaya.jp/index.html>

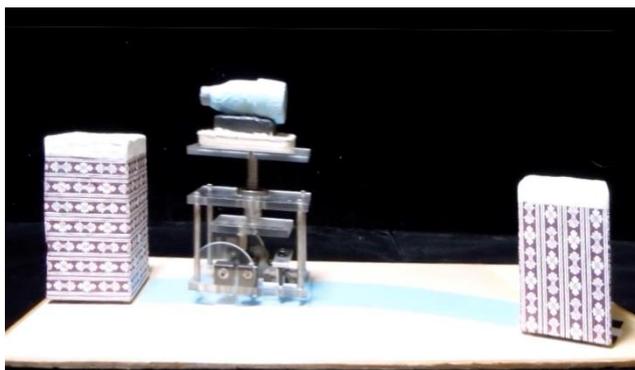


二人三脚で、世界各地で講演
 からくり人形の普及、交流に尽力

無動力搬送車「ドリームキャリー」の模型を
 解説実演中の末松さん



祇園祭螭螂山（とろうやま）の
 御所車の屋根に
 カマキリを取り付け調整中の玉屋さん



からくり改善の代表作の
 無動力搬送車「ドリームキャリー」の模型

考案者のアイシン AV（当時）の
 池田重晴さんが、子供の頃に茶運び人形の
 実演を見たことをヒントに発明した装置

【講師紹介】

九代 玉屋庄兵衛（くだい たまやしろうべい）氏 びょうでぐし（尾陽木偶師）

享保 19 年（1734 年）：初代玉屋庄兵衛が京都から名古屋へ移住。以降、270 年余、尾陽木偶師として、からくり人形の修復・製作・創作に従事
平成 7 年(1995 年)に九代目 玉屋庄兵衛を襲名。

平成 10 年(1998 年) 江戸末期田中久重が製作した「弓曳童子」完全復元。
各地の山車からくりの修復に従事すると共に、「茶運び人形」を国立科学博物館、大英博物館に寄贈するなど、からくり人形の普及、交流にも努める。

平成 27 年：祇園山鉾行事功労者表彰、卓越した技能者「現代の名工」受賞
令和 5 年：東海テレビ文化賞受賞



末松 良一（すえまつ よしかず）氏

九代玉屋庄兵衛後援会 名誉顧問

名古屋大学名誉教授、豊田高専名誉教授

専門は、機械制御、流体関連振動、メカトロニクス、画像処理工学。

からくり人形、江戸のモノづくりなどの調査研究にも従事。

『からくり公演』（海外文化交流事業）14 カ国 22 都市で実施。

著書：「制御用マイコン入門」（オーム社）、「画像処理工学」（コロナ社）

平成 18 年 4 月 文部大臣表彰科学技術賞（理解推進部門）受賞。

令和元 年 11 月 秋の叙勲 瑞宝中綬章 授章



京都先端技術研究会 事務局宛て

総会回答（講演会申込）フォーム、メールのいずれかの方法により、ご回答ください。

- 総会回答（講演会申込）フォームは、京都先端技術研究会 HP のお知らせページ内、「令和 6 年度京都先端技術研究会 活動状況」にあります。

※京都先端技術研究会 HP：<https://tc-kyoto.or.jp/cooperation/sentangijutsu/>

総会のお知らせ：<http://tc-kyoto.or.jp/cooperation/sentangijutsu/page-15833/>

※総会回答（講演会申込）フォーム：<https://form.run/@sentan-R6-soukai-karakuri>



総会回答
(講演会申込) フォーム

- メール：kyoto-sentan_1985 (ato) tc-kyoto.or.jp

なお、メールの (ato) は、@ に変更してください。

令和 6 年度 京都先端技術研究会

総会・記念講演会・技術交流会 ご出欠

	ご 出 欠 (○をお願いします。)	
総 会	ご出席	ご欠席
記念講演会 (会員：無料)	ご出席	ご欠席
技術交流会 (4,000 円) ※	ご出席	ご欠席

※当日、受付にてお支払ください。

貴社名：_____

お名前：_____

E-mail：_____

T E L：_____

※委任状(ご欠席の場合)：私は、7月3日開催の総会に欠席しますので、

議決権を _____ 氏 に委任します。